

宮前区の地域の特色・概況

1 宮前区の特徴

なだらかな丘が続く多摩丘陵の東の端に位置し、平瀬川、矢上川、有馬川の3つの河川が流れています。これらの川に挟まれて、丘陵、坂、谷戸などで構成された起伏に富んだ地形が特徴です。

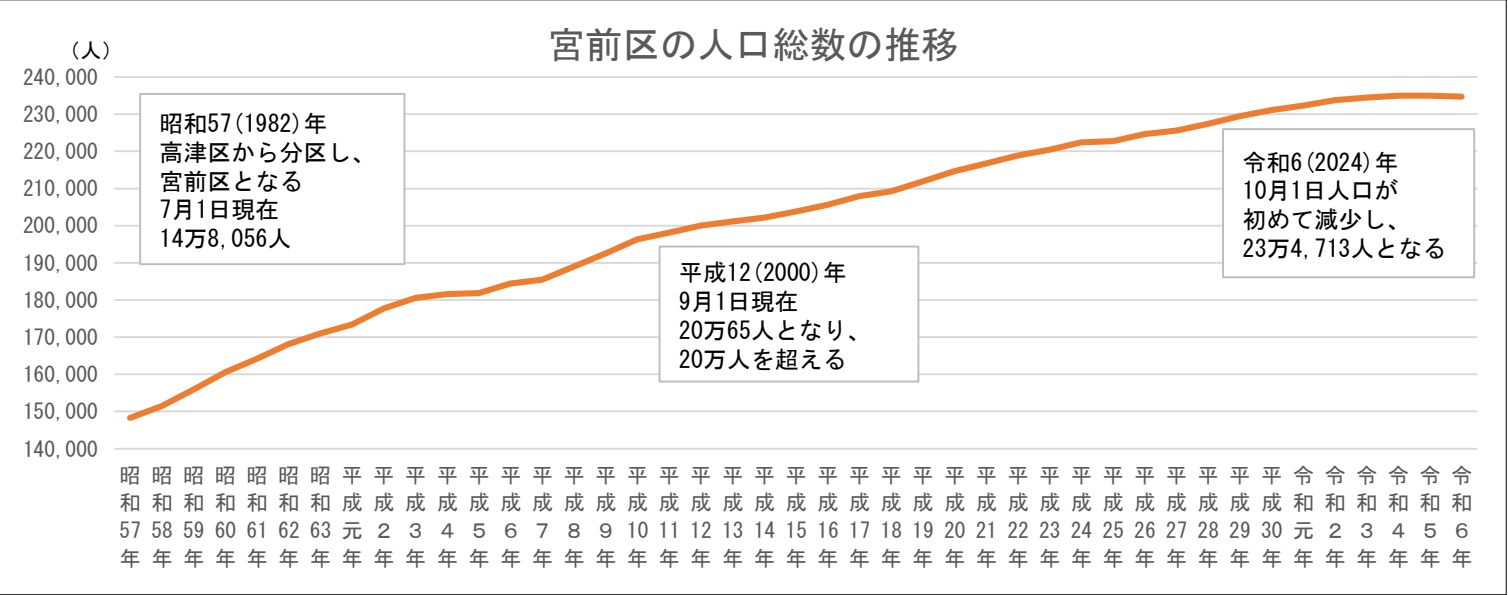
区内中央には、昭和41（1966）年に延伸された東急田園都市線の宮崎台駅、宮前平駅、鷺沼駅があります。

2 基本情報

区域（面積）	18.60 km ²	令和5年3月31日現在
区域（東西）	8.63 km	
区域（南北）	4.73 km	
総人口	234,384 人	令和6年9月末日現在
男	114,588 人	
女	119,796 人	
世帯数	107,093 世帯	令和6年10月1日現在
平均年齢	45.3 歳	令和5年10月1日現在
男	44.0 歳	
女	46.5 歳	
外国人数	4,991 人	令和6年9月末日現在
年少人口（0～14歳）	30,197 人	令和6年9月末日現在
年少人口割合	12.88 %	
生産年齢人口（15歳から64歳）	154,202 人	
生産年齢人口割合	65.79 %	
高齢人口（65歳～）	49,985 人	
高齢人口割合	21.33 %	
出生	1,629 人	令和5年1月～令和5年12月
死亡	1,983 人	令和5年1月～令和5年12月
転入	13,196 人	令和5年1月～令和5年12月
転出	12,597 人	令和5年1月～令和5年12月
昼夜間人口比率	74.5 %	令和2年国勢調査



3 宮前区の人口総数の推移

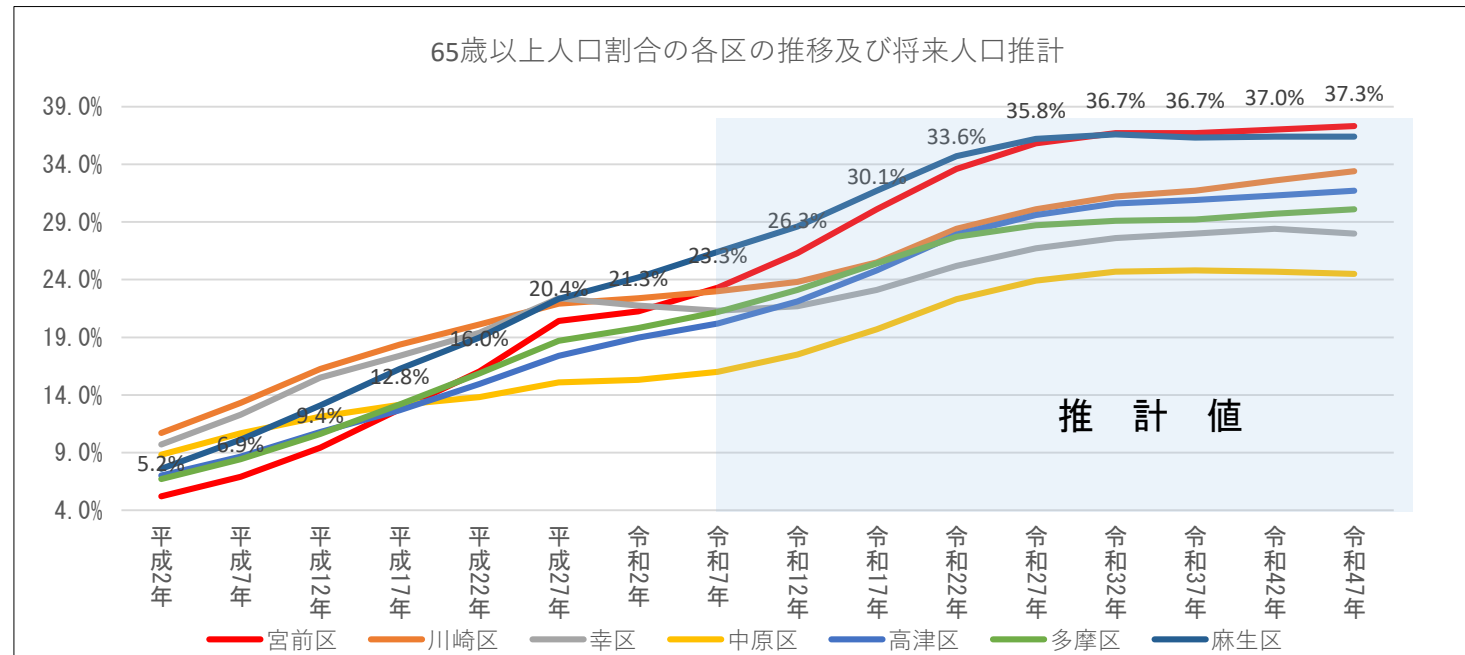


宮前区の地域の特徴・概況 《宮前区の高齢者（65歳以上）》

4 65歳以上の高齢人口割合の各区の推移及び将来人口推計

宮前区の65歳以上の高齢人口割合は、平成2年は市内で一番低い割合でしたが、令和2年には市内で4番目に高い割合となりました。

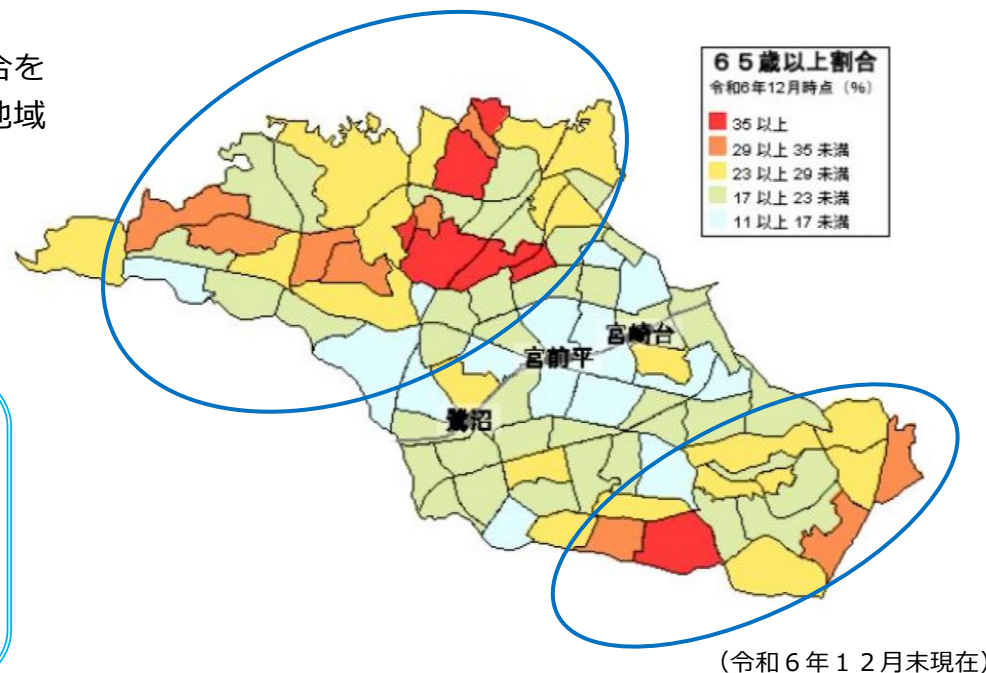
将来人口推計によると、令和47年には市内で最も高い37.3%となる推計です。これは、3人に1人以上が65歳以上となることです。



6 地図でみる高齢人口割合

町丁別の65歳以上の高齢人口割合を示した地図で、高齢人口割合が高い地域を赤色で表しています。

田園都市線沿線から離れた地域で赤色が多く見られます。



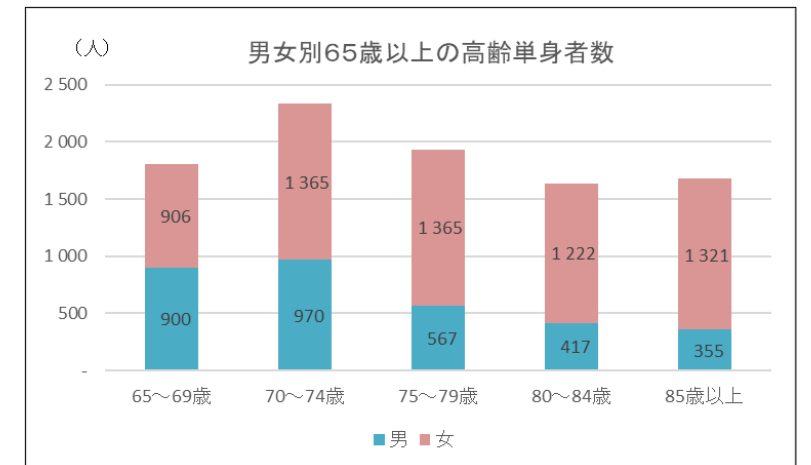
こぼれ話

宮前区の最高年齢は
108歳の女性です。
区内にお2人
いらっしゃいます。

(令和6年12月末現在)

5 65歳以上の単身高齢者数

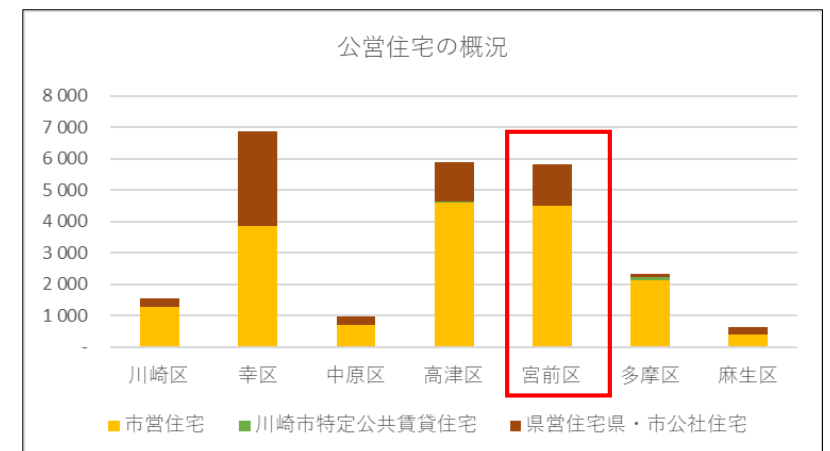
65歳以上の高齢単身者数が一番多い年齢区分は、70～74歳です。どの年齢区分でも女性の数が男性より多く、75歳以上ですと、女性の数が男性の数の倍以上となっています。



令和2年国勢調査

7 宮前区の公営住宅の概況

宮前区は、市営住宅数および県営住宅、県・市公社住宅数がそれぞれ市内で2番目に多くなっています。すべての公営住宅を併せた総数は、5,803戸で市内で3番目に多く、市内で2番目の高津区の5,901戸と僅差となっています。

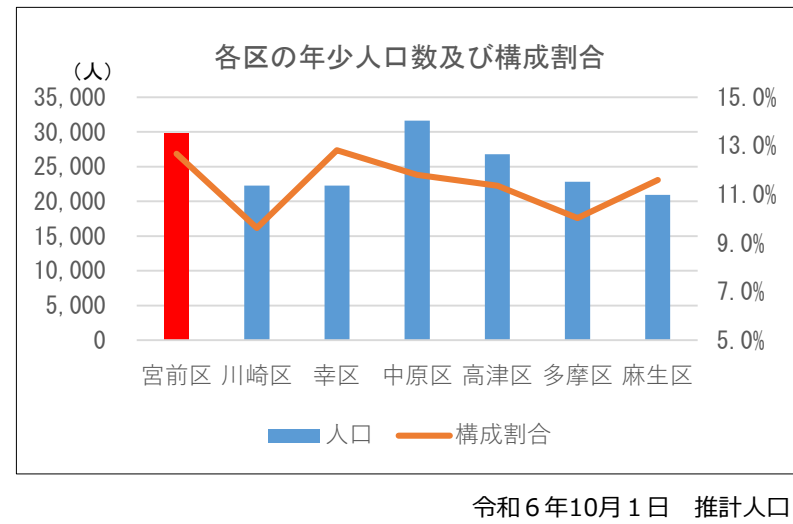


川崎市統計書より 令和4年度末現在

宮前区の地域の特徴・概況 《宮前区の子ども（15歳未満）》

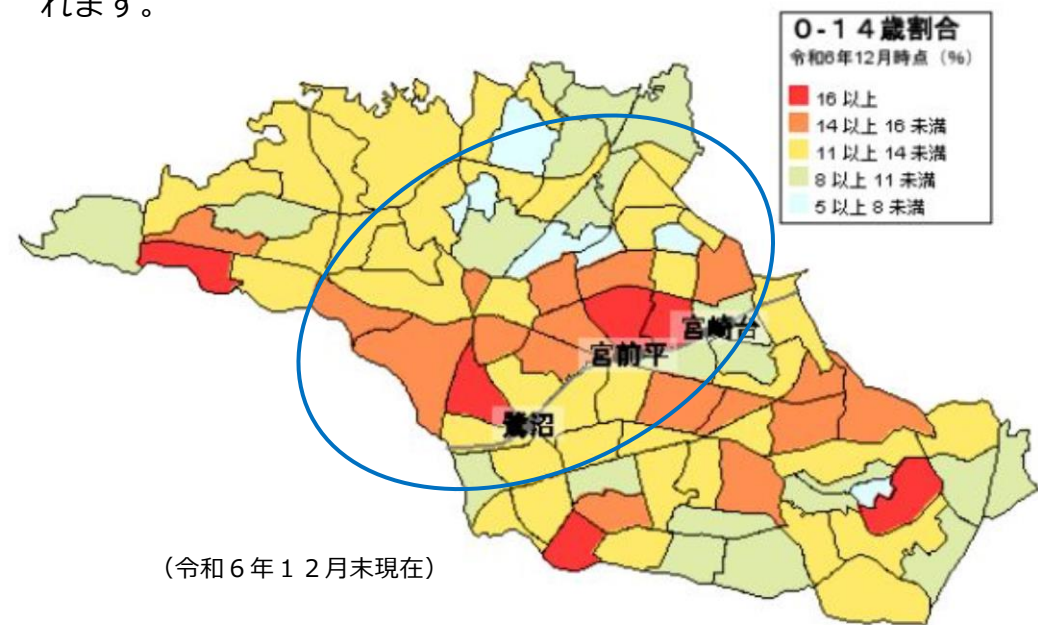
8 15歳未満の年少人口数及び構成割合

令和6年10月1日現在の15歳未満の年少人口数がもっとも多いのは、中原区で次いで宮前区となっています。また、年少人口の構成割合は、幸区に次いで2番目に高くなっています。



10 地図でみる年少人口割合

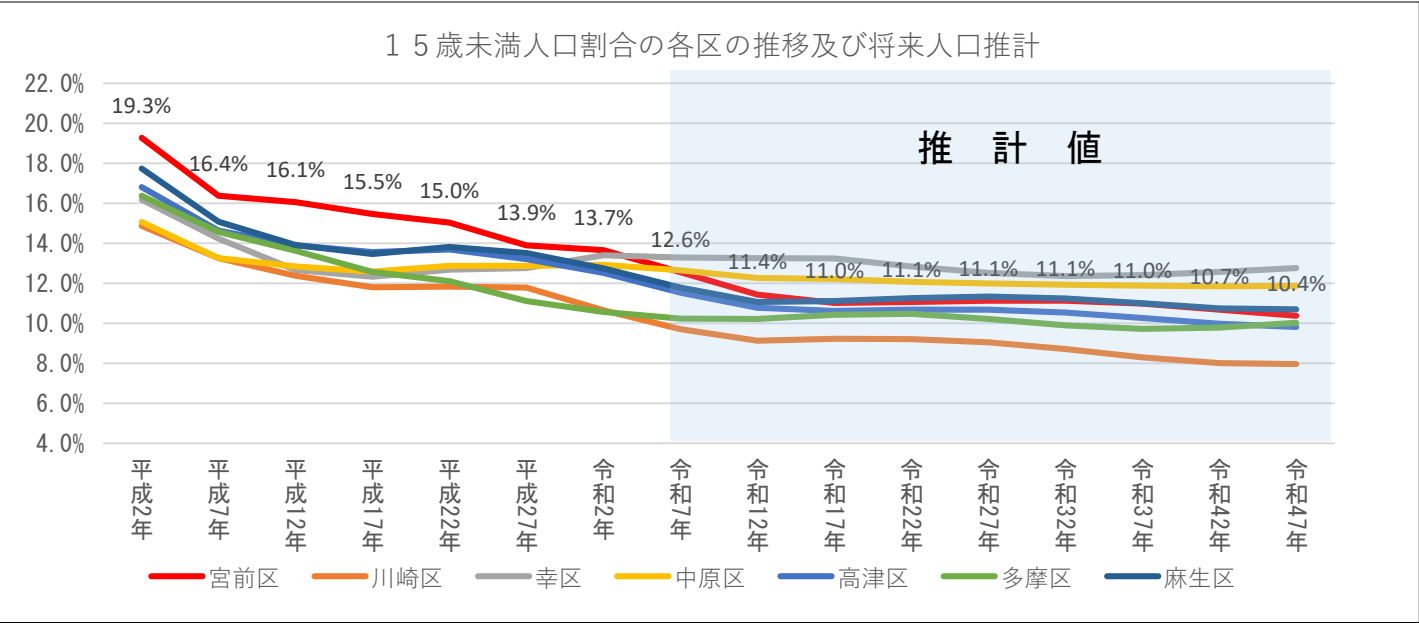
町丁別の15歳未満の年少人口割合を示した地図で、年少人口割合が高い地域を赤色やオレンジ色で表しています。田園都市線沿線の地域で赤色やオレンジ色が多く見られます。



9 年少人口割合の各区の推移及び将来推計

宮前区の15歳未満の年少人口割合は、平成2年は市内で一番高い割合でしたが、令和4年には幸区と同率となり、令和6年は幸区に次いで市内で2番目となりました。

将来人口推計によると、令和47年には幸区、中原区、麻生区に次いで市内で4番目となる推計です。約10人に1人の割合が年少人口となります。



11 市内各区の出生数の推移

市内各区とも出生数は減少傾向です。宮前区の令和4年の出生数は、1,603人で、7区のうち4番目に多くなっています。

